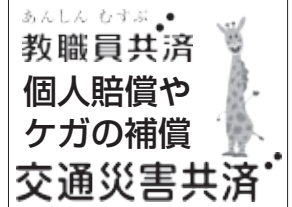




発行人 福島県教職員組合
 発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
 [定価一部 20円]
 編集・責任者 國分俊樹
 e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
 http://www.f-t-u.or.jp
 (この購読料は組合費に含まれています。)



県教組 サマーセミナー

～ オンライン開催 上野千鶴子さん講演 ～

8月7日(土)、東北ブロック女性部学習会との共同開催という初の試みとして、県内14支部のサテライト会場でサマーセミナーを開催しました。あけぼの会の方を含め、全支部から約120人の参加者が各会場に集いました。

「ジェンダー平等教育の視点から教育に望むこと」という上野千鶴子さんの講演は、東京大学での学生との対話の中から引き出された若者たちの本音を交えたり、女性参画率等の統計資料を引用したり、大変興味深い内容でした。

〈講演から〉

ようやくほんの少し動き始めた日本

東京大学入学式の祝辞で、女子差別問題や#MeToo運動に触れ、東大内のジェンダーギャップについて指摘したことは、想像以上に反響が大きかった。また、東京五輪をめぐる、多様性を許容しにくい日本社会に対する批判の声が上がったということは、少しずつ社会が変化し始めていると感じている。

情報はノイズから生まれる

「なぜ、どうして?」「へんだ、おかしい?」という違和感に言語を与え、その筋道をつくるのが学問である。100のノイズから数個の意味のある情報が生まれる。

私たちは変えられる力を持っている

家庭科男女共修、男女混合名簿、お茶汲み慣行など、過去のあたりまえだったことを、先輩たちが粘り強くたたかってきた成果が、現在のあたりまえをつくっている。自分の身の回りの違和感に気づき、変えていくことが大切。



講師：上野千鶴子さん

(東京大学名誉教授、社会学者、家族社会学、ジェンダー論、女性学NPO法人ウィメンズアクションネットワークWAN理事長 他)

〈主な著書〉

「在宅ひとり死のススメ」(文芸春秋)

「おひとりさまの老後」(法研)

「情報生産者になる」(筑摩書房) など多数

参加者の感想から

- 上野さんのズバッという切り口で、現在の問題を語っていただき、頭の中にあったモヤモヤが、かなり整理されました。生徒の悩みに寄り添うことや性教育の重要性、子どもたちを主権者として育てるなど、たくさんのヒントをいただきました。
- 職場で、周囲からの見られ方を気にして、発言できないことがあります。自分の考えが正しければ“わきまえない女”になって発言していくことが大事だと思いました。



教育会館第二会議室会場

専門部から こんにちは

障がい児教育部

ひとりで悩まない！語り合おう (^ ^)



障がい児教育部副部長
押部 香織

「障がい児教育部」というと、特別支援学校教員と特別支援学級担当が所属すると思われがちですが、実は、インクルーシブ教育や特別支援教育にかかわるすべての教職員が対象となっています！学校・学級種別を問わず誰でも所属できる専門部なのです！

現在、通常学級にも個別に支援が必要とされる子が増えてきていると言われています。どんなふうにかかわればいいのか困っている、支援したいけど手が回らない、職場で相談する人がいない…等悩みを抱えている教職員もまた増えています。

先日オンラインで行われた専門部総会でも、各地区や職場の状況について情報交換を行い、多くの課題があげられました。

- ・ 支援員、介助員の数が圧倒的に足りない。
- ・ 初めて特別支援学級担任となり、分からないことが多すぎる。
- ・ 各自治体の教育支援委員会の実態とその格差。担任をしつつ、自治体の委員を担うのは大変。
- ・ 通級指導教室が全く設置されていない地域があり、地域間格差がある。
- ・ 通常学級において、個別の支援を必要とする子どもが多いが、担任1人では対応しきれない。
また、他の教職員に助けを求めたいが、求める相手がいない。(人が足りない)
- ・ 発達障がいやその疑いがある生徒の高校進学について。
- ・ インクルーシブ教育が定着しにくく、難しさがある。 など



今年度の県教委へのおもな要求事項

- ◎ 支援学級の1学級5人程度の少人数学級またはTTによる弾力的な指導が可能な県単教員の増員
- ◎ 通級指導教室のない地域への早急な設置



「教職員研究物展」見直しませんか？

教職員に研修は必要です。しかし、校内における研修についても、勤務時間内で完結できるような内容とすることが求められています。また、その成果を展示物としてまとめるための時間を、勤務時間内に確保できているでしょうか？県内でも、研究物展の主催者や取り組み方の状況は様々です。積極的に県の研究物展に参加を促す地区がある一方、出展は、あくまでも個人参加としている地区や、昨年度から中止を決めた地区もあります。

県教組本部では、7月から県内の各主催者を訪問し、この研究物展の中止を含めた見直しを求める要請行動を行っています。

論文と資料作成のために、勤務時間外にまで労力を注ぐという働き方を見直しませんか？分会から、地区から、声をあげていきましょう。



**実現
しました!**

結婚休暇の 取得期間延長!



結婚休暇は、現行では結婚の日（入籍日や結婚式など自分で決められます）から6ヶ月以内に取得する休暇でした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、取得できなかった方がいたため、県教組では青年部を中心に期間延長を求めてきました！

その結果、7月28日付の県教委通知で「結婚の日から当分の間」となり、実質の延長となりました。対象のみなさん、貴重な休暇を、有意義に活用してください。

組合員からの疑問や悩みを受けとめ、働きやすい職場環境を作っていくのが組合です。

**みなさんの職場の現状を
お聞かせください!**



**「#こんな働き
方でいいの?」**

新採用です。出張、研修、指導案作成、学級の仕事…気づいたらいつも20時を過ぎています。他の先生もたくさん残っています。1年間続けられるかな？



子どもたちと6校時やった後ICTの研修、校務支援システムも研修、そしてあっという間に17時。子どものノートは持ち帰って見るしかありません。こんな生活抜け出したい。早く退職します。

県教組では、みなさんの働き方の疑問、不満、不安などを出し合ってどこがおかしいか、どうすれば改善できるのかを共有し、考え合いたいと思います。教委等との交渉はもとより、語り合い意見を交流し合うことを大切にしています。そこには、共感と協力そして勇気と力が生まれると思うから！



みなさんの声届けてケロ

県教組へ！ 支部へ！ 電話で。FAXで。LINEで。

ID:@894amadj

公式LINE アカウント



友だち登録は
こちらから!!

ほ学校で! Monster



交遊中! 知って安心 私たちの権利

福島県教育委員会では、現在、不妊症や不育症に係わる特別な休暇はなく、現行では、「病気休暇」で対応するとなっています。しかし、この「病気休暇」も、あくまでも保険適用範囲内の「病気」の治療のためということで、人工授精や体外受精等は対象外とされています。

次世代育成支援対策推進法の一部変更により、「不妊治療を受ける労働者に配慮した措置の実施」等が新設されました。(2021. 4. 1) 特別休暇としての「不妊治療休暇」が新設されている県もあります。


県教組では、女性部を中心に、不妊・不育症の悩みや治療と仕事の両立の困難性を訴えてきました。ぜひとも、実現に向けて継続して要求していきましょう!

私たちは 求めていきます!!

「不妊症・不育症に係わる病気休暇」(仮)

要求内容…… **【特別休暇】〈有給〉**

●取得日数：1年につき10日




みんなのひろば

ささまさむね 純米吟醸 愛山

喜多方のお酒の中でもお気に入りのささまさむね! 酒米のダイヤモンドと言われる愛山で醸した純米吟醸ができました~! とってもおいしくて贅沢なお味でした♥

酒蔵も近く国の有形文化財(建造物)に登録されるようでコロナが落ち着いたら酒蔵見学もいいですね~



日本酒をたしなむ会会員N

ノスタルジー

今回のテーマは「東京五輪」

二〇二〇年東京五輪が開催された。金メダル五個も獲得したアメリカの競泳選手ドレセルさんは、その表彰式に青いバンダナと共に臨んだ。そのバンダナは、自分を強くしてくれた人生の先生と慕う高校時代の数学教師、マクル先生のものだ。ドレセルさんは、癌で亡くなったマクル先生に頑張っている自分の姿を見てほしいと、バンダナと一緒に表彰式に臨み、金メダルを受け取った。陸上八百m準決勝で米国とボツワナの選手が転倒した。一瞬にして決勝は途絶えた。しかし、転倒した後二人は握手してから肩を抱き合い並んでゴールした。

スケートボード女子パークは、国とかメダルとか関係なくリスベクトし合う姿に、国を越え健闘をたたえ合う競技なのだと感じた。出場者には一人ひとりに物語がある。それは感動的なもので敬意を表さなければならぬと思う。東京五輪でそれが開花した。いろいろあったけれど東京五輪はやってよかったという結果になっていいのだろうか? 五輪により感動はあった。しかしそれはそれとして、五輪開催がよかったかどうかは別に考えなければならぬ。

国民の多数が開催に反対や懸念を抱いていた東京五輪。これに対して「今、この夏開催する理由」を明確に答えた五輪関係者は誰もいない。菅総理にいたっては国会で懐古に浸り今を語れない。五輪を開催する意義、メリット、デメリット、パリが共同開催しようとしていたこと、何も語らない。情報公開がなさ過ぎだ。ただただ何が何でも、誰がなんと言おうと「開催」に突き進む。反対は反目的だという元首相。あれ? これってあのときと同じじゃない?

五輪組織委員会参加が「そんなクソなピアノの発表会なんてどうでもいいでしょう。五輪に比べれば。それを一緒にするアホな国民感情」と五輪無観客について発言した。

「五輪に比べればピアノの発表会なんかはどうでもいい」「国民一人ひとりの思いより、何よりも重んじるのは国の名誉、繁栄、国家である」そんなことが推測される。

五輪で黙祷をしないことを残念に広島被爆七十六年目の日に危機感を抱いていた。

(K・I)